

平成30年度「学校運営協議会の設置・拡充に向けた調査研究事業」まとめ【概要版】

教育委員会名	山口県教育委員会
研究課題	○ 学校運営協議会の仕組みを生かした、特別支援学校とその学校が立地する地域の効果的な連携・協働体制による「防災体制の構築」や、特別支援学校と市町立小・中学校、高等学校の学校運営協議会が連携し、「共生社会」の実現を目指した学校と地域の連携・協働体制の構築に資するモデルプランの策定
研究のねらい	<p>山口県教育委員会では、平成28年度に初めて県立特別支援学校2校にコミュニティ・スクールを導入し、平成30年4月には、県内すべての特別支援学校への導入を完了し、学校・家庭・地域が一体となった特色ある学校づくりの推進を図っている。</p> <p>こうした中、平成23年の東日本大震災や熊本地震、台風等の災害により、全国各地において甚大な被害等を及ぼしている現状があり、本県においても、防府市の大雨による土砂災害や岩国市の河川の氾濫など記憶に新しく、災害時の緊急対応についての要望等が保護者から寄せられるなど、特別支援学校においても喫緊の課題となっている。</p> <p>このため、過去の災害等の教訓を生かし、緊急時に障害のある子どもたちと地域が連携・協力して安心・安全に避難ができるよう、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした地域と連携・協働による防災対策を強化する。</p> <p>また、地域との合同による避難訓練を通じて、障害や障害のある子どもへの理解を促進し、生まれ育った地域で安心して生活することができるよう、共生社会の実現を目指す。</p> <p>こうした取組を通じて、教職員のコミュニティ・スクールへの参画意識を高め、学校・家庭・地域が一体となった社会総がかりによる本県の特別支援学校のコミュニティ・スクールの取組をモデルプランとして整理・策定し、全国の特別支援学校への普及に努めたいと考える。</p>
研究の概要	<p>&lt;協議会の設置について&gt;</p> <p>○地域学校協働活動推進プロジェクト委員会</p> <p>➢学識経験者や関係機関、首長部局、地域、小・中・高等学校の学校運営協議会委員等を構成員とし、学校・家庭・地域が一体となり社会総がかりによる教育の充実を図ることができる特別支援学校学校運営協議会の設置・拡充、協働活動の推進に向けて協議・検討を行い、本プロジェクトの円滑な推進に資する。</p> <p>○大規模災害合同避難訓練検討委員会</p> <p>➢首長部局や関係機関、地域等と大規模災害合同避難訓練の実施に向けて検討・協議</p> <p>&lt;プログラムの策定について&gt;</p> <p>学校・家庭・地域が一体となった社会総がかりによる特色ある特別支援学校づくりや、地域への障害に関する理解促進など、共生社会の形成に向けた特別支援学校の学校運営協議会の役割の明確化と効果的な運営方法等に関するモデルプランを策定</p> <p>○大規模災害合同避難訓練検討委員会</p> <p>➢首長部局や関係機関、地域、小・中・高コミュニティ・スクール等と大規模災害合同避難訓練の実施に向けて検討・協議</p> <p>○首長部局等との協働による大規模災害避難訓練</p> <p>➢学校運営協議会の中心的役割を担う地域のキーパーソンの発掘・情報収集</p>

<p>研究の成果</p>	<p>○地域と連携した学校防災のモデルプラン作成に向けた取組</p> <p>①2018年山口県総合防災訓練の参画状況  生徒30名、教職員28名、保護者20名、地域（防災士）1名</p> <p>②2018山口県総合防災訓練への支援者としての参画状況  市防災担当課との打ち合わせにより、各種訓練の中で、将来的に支援者としての役割を担うことが期待される以下の訓練に参画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所開設訓練（段ボールベッド、間仕切りの設置）</li> <li>・物資運送訓練（物資搬送トラックから避難所開設場所までの運搬）</li> <li>・応急救護講習（心臓マッサージ訓練）</li> </ul> <p>③2018山口県総合防災訓練参加後の、生徒・保護者、教職員、地域住民の意識の変容  （訓練後の事後アンケート結果分析）</p> <p>（生徒）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所開設の受付での応対等、災害時に想定される他者との関わりを訓練の中で体験することにより、防災への意識の高まりとともに、身に付けるべきスキルについて実体験をもとに気づくことができた。</li> </ul> <p>（学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民や、訓練スタッフ等、初対面の相手に対して、個々のコミュニケーション能力を發揮して、関わろうとする姿が、多方面において見受けられ、日頃の取組の評価につながった。</li> <li>・実際に大規模災害が起きた際に想定しうる障害ゆえの困難さについて確認することができた。</li> </ul> <p>（地域 防災士より）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校児童生徒と地域とのこうした取組が、非常に重要であることを再認識した。また要支援者としてだけではなく、支援者として大きな力を持っていることを知ることができた。</li> </ul> <p>（保護者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃、意識していない視点を得ることができた。障害があるゆえの困難さをより深く認識し、備えておくことの大切さを実感することができた。</li> </ul> <p>○コミュニティ・スクールの仕組みを生かした地域学校協働活動推進の取組  《全12特別支援学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県教育委員会による働きかけにより、各学校運営協議会において、大規模災害対応について、学校課題の一つに位置づけることで、地域、保護者、学校が一体となったこれまでの避難訓練の見直しや、専門家を入れた訓練の質の向上につながった。</li> <li>・また、最新の設備を導入したリアリティのある体験学習が可能な岩国市防災学習館を学校運営協議会員が視察したことにより、各委員は、地域と学校が一体となった様々な場面を想定した実効性のある訓練や、日頃からの地域、学校、保護者の交流が非常に重要であることを再認識することにつながった。</li> </ul>
<p>本件 問い合わせ先</p>	<p>山口県教育庁特別支援教育推進室 083-933-4615</p>